全東京写真連盟

撮影会写真コンクール

入賞作品集

審査対象 台場公園モデル撮影会

撮影日 2022年01月16日

審査日 2022年03月13日

審査員:HARUKI先生

金賞
「ツインテール」
堤　博史 様
モデル　髙畠祈莉

審査員:HARUKI先生 講評

今回の金賞は135mmの大口径レンズを開放で使われた王道とも言える１コマを選ばせていただきました。未だ肌寒い季節の撮影かと思われますが、逆光に輝く緑の背景の中に佇む少女（ツインテールがその象徴ぽい）仕草とぼんやりとした視線が見る側の感情へ刺さりました。ほぼ同じような条件で撮影された作品が他にも複数枚あった中で最終的にこの作品となった要因は他作品よりも微妙に表情が優れていたこともありますがやはり一番の理由はプリントの仕上げの美しさでした。機材や環境によって見え方が変化するWeb上だけではわからない写真本来の良さはプリントとなってはじめて公の場で日の目を見るのです。

銀賞
「淡い想い」
高橋　敏之 様
モデル　美菜

審査員:HARUKI先生 講評

カラー作品ですがもしかしたらモノクロームでも似合いそうな柔らかい光線に包まれた１コマです。小春日和の水辺の近くで降り注ぐ陽光の中にモデルさんの初々しさと優しい気持ちが表現されています。この写真をご覧になって「今から何十年も前、当時のガールフレンドと遠出デートした時にこんな写真を撮ったことあるよなあ」なんて甘酸っぱい記憶を思い出した方も多いんじゃないでしょうか（笑）。これからの季節では上着を脱いでもっとリラックスした作品が撮れるようになります☆

銅賞
「冬の日」
寺島　弘行 様
モデル　北村真帆

審査員:HARUKI先生 講評

左手からの枝葉のようなものが出ているのを上手く利用した結果、反逆光線下での古風なポートレートに陥ってしまうことなく画面に効果的な立体感を生み出しました。銀賞作品では柔らかい光線が溢れていましたがこちらは真反対にひんやりした直線的な光線となっています。この前ボケの入り方が出しゃばらずちょうど良い塩梅です。画面に入る光線を利用した効果が功を奏したという点では同じですがモデルさんの見た目も真逆なくらいのタイプで、銀賞作品は「過去の思い出の中の女性像」とするのなら本作品はモダン的で「今の彼女」といったところでしょうか（笑）。

入選
「冬の日」
湯原　章綱 様
モデル　北村真帆

入選
「A Day to Remember」
門間　正之 様
モデル　髙畠祈莉

入選
「笑顔の君」
中山　静男 様
モデル　髙畠祈莉

入選
「輝く髪の乙女」
猿田　善和 様
モデル　アビラ凜

入選
「見つめる」
佐久間　裕史 様
モデル　北村真帆

佳作
「浮遊のまなざし」
石川　玲 様
モデル　福田晴香

佳作
「光る海」
河村　徳助 様
モデル　谷内田楓

佳作
「琥珀の煌き」
中山　昌幸 様
モデル　美菜

佳作
「台場公園にて」
山田　栄一 様
モデル　北村真帆

佳作
「希望の満ちて」
髙橋　壯太 様
モデル　髙畠祈莉

佳作
「冬の想い」
田沼　靖信 様
モデル　彩乃美希

佳作
「春への思い」
鵜飼　典彦 様
モデル　アビラ凜

佳作
「見つめていたい」
佐藤　和明 様
モデル　髙畠祈莉

佳作
「大きな木の下で」
北条　善久 様
モデル　堀口桜子

佳作
「プロフィール」
星野　祐一 様
モデル　yuki

次点
「希望のひと」
芝本　勲 様
モデル　髙畠祈莉

次点
「大樹に包まれて」
滝本　憲一郎 様
モデル　堀口桜子

次点
「おいのり」
斎藤　貴生 様
モデル　髙畠祈莉

次点
「ひととき」
内藤　勝之 様
モデル　アビラ凜

次点
「斜光線」
小野寺　基之 様
モデル　福田晴香

次点
「緑を求めて」
大村　勇二 様
モデル　アビラ凜

次点
「のしかかるる虹色橋」
岸野　孝博 様
モデル　福田晴香

次点
「お台場の華」
鈴木　幸彦 様
モデル　彩乃美希

次点
「セピア色の季節」
三井　直人 様
モデル　堀口桜子

次点
「枯れて立つ」
米村　光男 様
モデル　アビラ凜

【コンテスト審査でのプリントの余白はどうする？】

今回の２つの撮影会審査も力作揃いでした。数年前から審査を担当させていただくようになってから何度もお話ししてきて、全員ではないですがプリントの質も平均的には良くなってきたかと自負しております。プリントされる時に「余白付ける」派と「裁ち落とし」派の方がいらっしゃるかとおもいます。どちらが良いのですか？とよく聞かれますが正解は「どちらでもO K」です（笑）。ただし個人的にはA4サイズでしたら四片の余白5mm～2cmくらいが審査時にプリントの扱い易さもあり無駄もなく、また見た目にもバランスが良いかと思います。ここで「余白」と書きましたが「余黒」にされる方もいらっしゃいますが、額装で展示する場合には効果的ですが審査時に周りが黒だとその分小さく見えるだけでメリットはございませんので余白がオススメです☆

HARUKI